

# おおしま しゅんすけ 大嶋 俊祐

青山学院大学大学院  
理工学研究科理工学専攻知能情報コース

## Web アプリケーション開発

学部三年で履修した授業の影響で  
Web アプリケーションを作るのが好きです。  
Ruby on Rails と JavaScript を用いた物を幾つか作りました。



今までに作ったアプリケーションとしては

- 誕生日プレゼントレコメンドサービス
- 携帯電話を用いた教育支援サービス
- Twitter を用いたリマインダサービス  
などがあります。

また、社会系学部生の研究のために  
研究用アプリを作ったこともあります。

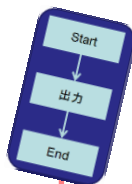


## ティーチング・アシスタント

学部生に指導をしました。特に、授業用質問掲示板における  
ユーザが少ない、という問題に挑みました

教授の返答が分かり難い

元々のユーザが少ない



図と実例を用いた丁寧でわかりやすい回答を実施  
ユーザが増え、例年比8倍以上の利用回数に  
学生の学力も向上

```
#include <stdio.h>
int main() {
    printf("Hello World!");
    return 0;
}
```

この挑戦を通して、**相手の問題を受け取り、そこに分かりやすく応答**する実力を獲得することが出来ました

# 研究

XML で右から左に読み書きする文字を使えるようにしました

```
<element attribute="left of right">left of right are characters are right</element>
```

望ましい表示

実際の表示

```
<element attribute="left of right are characters are right">left of right</element>
```

下の表示では XML を構成するタグの表示が不適切になってしまい、編集が困難です。これを上の表示のように改善しました。

右から左に用いる文字はアラビア文字やヘブライ文字等があります。これらを XML で使えるようにして XML の国際化に貢献できました。

この研究は右の国際学会で発表しました。



## 自閉症児の支援

自閉症等のハンディを持った児童を支援するスタッフを経験しました。多くの児童は欲求を我慢する・伝えることが苦手です

ジュースを飲みたい

自販機を叩く

支援者の財布を取ろうとする

「ジュースが飲みたい」を口頭で伝えられるまで練習

時に噛み付かれたりすることもありました。しかし、児童とのコミュニケーションの中で誰かのニーズを想って待つことを教えられました